

「教育支援人材に関する実態調査」および「小学校における社会科・理科・体育科の学習指導に関する調査研究報告書」の概要について

松田恵示（東京学芸大学）

1. 「教育支援人材に関する実態調査」

1) 概要（P.4）

2) 教育支援人材の配置状況

- ・ ボランティア(雇用関係なし)で約 20%、教育支援員(雇用関係有り)で約 10%は未配置（P.4）
- ・ 人口規模に応じて、ボランティア>教育支援員の傾向あり(P.5)

3) 募集と採用

- ・ ボランティア募集の媒体の狭さ・少なさ → コーディネーターへの負担大(P.15)
- ・ ボランティア採用時の専攻は 35%程度(P.17)

4) 教育支援員の報酬

- ・ 報酬月額平均は 16 万円程度(時給 1100 円程度)(P.26)
- ・ ボランティア交通費等支給なしが約 70%程度(P.26)

5) 教育支援人材の推進計画の有無

- ・ 計画を策定している自治体 30%弱(P.30)

6) コーディネーター

- ・ ボランティアが 33.3%、社会教育関係者が 17.1%
- ・ 配置の必要性なし 40%弱

7) 教育支援人材の拡大要因(P.55)

- ・ 支援内容の影響
- ・ コーディネーターの有無

2. 「小学校における社会科・理科・体育科の学習指導に関する調査研究報告書」

1) 概要(P.1)

2) 「チームアプローチ力」という課題(P.79)

3) 小学校教員から見た連携・協力の実情(P.86)